

プレスリリース

キングスカイフロントをご存知でしょうか？ 川崎臨海部 PR 動画が完成

- キングスカイフロント誕生（第1号機関進出から10年）の節目をきっかけに、川崎臨海部 PR 動画が公開
- 中核機関としてナノ医療イノベーションセンター（iCONM）にクローズアップ
- オープンイノベーション拠点としての優位性について市長らが語る

報道関係者 各位

平素は大変お世話になりましてありがとうございます。

文部科学省・科学技術振興機構「センター・オブ・イノベーション（COI）プログラム」川崎拠点（COINS）の中核機関である、公益財団法人川崎市産業振興財団 ナノ医療イノベーションセンター（センター長：片岡一則、所在地：川崎市川崎区殿町、略称：iCONM）が、川崎臨海部 PR 動画にて紹介されました。

この動画は、川崎市が第1号機関進出から10年の節目を迎えた殿町国際戦略拠点「キングスカイフロント」の再周知を図るため、川崎臨海部及びキングスカイフロントで行われている取組を、市民を始め多くの方に紹介するものです。

キングスカイフロントの中核機関 iCONM では、産学官のメンバーが、「一つ屋根の下」のコンセプトのもとナノテクノロジーと医療を融合させ、イノベーションを生み出す異分野融合体制で、革新的課題の研究、及び実用化に向けて取り組んでいます。

オープンイノベーション拠点としての優位性を、福田紀彦川崎市市長や片岡一則 iCONM センター長、iCONM 社会連携ラボのひとつである、株式会社ナノエッグ 山口葉子社長へのインタビューを軸に描いています。

川崎から、世界が、未来が変わる。ぜひ、動画をご覧ください。

<川崎臨海部 PR 動画 URL のご案内>

川崎市 YouTube <https://youtu.be/RnXAb0-v3h8>

公益財団法人川崎市産業振興財団について

産業の空洞化と需要構造の変化に対処する目的で、川崎市の100%出捐により昭和63年に設立されました。市場開拓、研究開発型企業への脱皮、それを支える技術力の養成、人材の育成、市場ニーズの把握等をより高次を実現するため、川崎市産業振興会館の機能を活用し、地域産業情報の交流促進、研究開発機構の創設による技術の高度化と企業交流、研修会等による創造性豊かな人材の育成、展示事業による販路拡大等の事業を推進し、地域経済の活性化に寄与しています。

<https://www.kawasaki-net.ne.jp/>

ナノ医療イノベーションセンターについて

ナノ医療イノベーションセンター (iCONM) は、キングスカイフロントにおけるライフサイエンス分野の拠点形成の核となる先導的な施設として、川崎市の依頼により、公益財団法人川崎市産業振興財団が、事業者兼提案者として国の施策を活用し、平成27年4月より運営を開始しました。有機合成・微細加工から前臨床試験までの研究開発を一気通貫で行うことが可能な最先端の設備と実験機器を備え、産学官・医工連携によるオープンイノベーションを推進することを目的に設計された、世界でも類を見ない非常にユニークな研究施設です。

<https://iconm.kawasaki-net.ne.jp/>

殿町国際戦略拠点「キングスカイフロント」について

キングスカイフロントは、川崎臨海部の殿町地区に位置する、ライフサイエンス分野における世界最高水準の研究開発拠点です。世界の玄関口である羽田空港の対岸という抜群の立地を生かし、これまで川崎市が拠点形成を進めてきました。現在では70の企業や大学、研究機関が集積し、今はまだ治すことが難しい病気の治療法や新しい薬の開発など、世界が直面する課題を解決するための研究活動が行われています。

<https://www.king-skyfront.jp/>

センター・オブ・イノベーション (COI) プログラムについて

COIプログラムは、文部科学省・科学技術振興機構の下で進められている研究開発プログラムで、将来社会に潜在する課題から、現在取り組むべき異分野融合・連携型の研究開発テーマをバックキャストして設定しています。企業や大学だけでは実現できないイノベーションを産学連携で実現する拠点が全国に18か所設立されました。川崎拠点は、その中で唯一、大学でなく地方自治体が管理するCOI拠点であり、そこで実施する研究プロジェクトを、COINS (Center of Open Innovation Network for Smart Health) と呼んでいます。

COI: <https://www.jst.go.jp/coi/>

COINS : <https://coins.kawasaki-net.ne.jp/>